

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市千里丘上 新築工事	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市千里丘上2504-2他、	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	108 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年12月22日
敷地面積	903 m <sup>2</sup>	作成者	山本三郎
建築面積	442 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月24日
延床面積	3,204 m <sup>2</sup>	確認者	D&D建築設計事務所 泉尾良人



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 74%  
③上記+②以外の 74%  
④上記+ 74%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	地球環境ならびに入居者の生活環境にも配慮した設計となっている。	その他 0
Q1 室内環境	建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用し、室内環境に配慮した設計となっている。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物外部において夜間照明の設置、防犯カメラの設置を行い防犯性に配慮した設計となっている。
LR1 エネルギー	エネルギー効率を高めるよう配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な駐車、駐輪台数を確保しおり、周辺環境に影響がないように配慮しています。
Q2 サービス性能	建築基準法に定められた耐震性を有する。また、居室の天井高さは2.4mを確保しサービス性能に配慮した設計となっている。	
LR2 資源・マテリアル		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)吹田市千里丘上 新築工事		
	建設地	吹田市千里丘上2504-2他、摂津市千里丘1丁目157-11他		
	用途/区分	集合住宅		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				